

被災者の追い出しはやめて 必要な世帯に、仮設住宅の再延長を

「転居先が見つからない」の声、声、...

熊本市民連の予算要求交渉では、「希望するすべての被災者に、プレハブ仮設・みなし仮設の再延長を認めてほしい」ということが要望されました。

参加者からは、「ペットを飼っ

ているので、転居先が見つからない人がある」、「市営住宅の上階には住めない」など、転居先が見つからないまま、仮設住宅の期限を迎えようとしている人の実情が出されました。

再延長対象は必要世帯の「4分の1」、3000世帯が対象外

昨年12月末で約5,000世帯の仮設入居者のうち、延長を必要としている世帯が約4,000世帯です。しかし、現行の基準では、再延長を認められるのは1,000～1,200世帯であるというのが、市の説明です。

必要でありながら、延長の対象となるのは4分の1の世帯です。約3,000世帯が必要でありながら対象外で、プレハブ仮設・みなし仮設を追い出されることになります。このような被災者切り捨ては許されません。

国・県へ要望し、必要とする世帯の再延長を

国や県に基準見直しを要望し、転居先が決まらない世帯、住いの再建が未だの世帯すべてに再延長を認めていくべきです。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか 山部ひろし

NO. 1130

2019年2月3日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索

熊本のまちづくりについて考えましょう！

熊本市民連主催の講演会にご参加を

「平和と民主主義・暮らしを守る熊本市民連絡会」主催で、熊本市のまちづくりのあり方を考える講演会が開かれます。

どうなる？ 熊本市の ハコモノ中心のまちづくりを問う！

とき 2月5日(火)午後2時30分より
ところ 県民交流会館パレア会議室2

(鶴屋東館9階)

講師 中山 徹さん
(奈良女子大学大学院教授)

*参加費 無料



熊本市は、桜町再開発へのMICE施設「熊本城ホール」整備に457億円(再開発の補助金含め)。「花畑広場」整備20億円、熊本城見学通路建設に18億円。NHK・JT跡地買収に約30億円。加えて、市役所本庁舎の建替問題も浮上(約500億円の建設費が予想される)。大型ハコモノや無駄な用地買収が最優先です。一方で、国民健康保険料は政令市トップの負担、政令市2番目に高い介護保険料、「さくらカード」の改悪検討中、子ども医療費助成の窓口負担を月500円から1400円に引き上げ、敬老祝い品の縮小...など、住民サービスを次々に切り捨てています。

大型ハコモノ優先から、住民の暮らしや福祉・子育て応援の熊本市へ、これからのまちづくりを一緒に考えましょう。



中央区・上野美恵子のページ

北口議員の 暴言・パワハラ

議員としての社会的・道義的責任が問われる 「失職」は取り消しでも、4回の「辞職勧告」という事実是不変

日本共産党市議会だより 2019年2月3日号 (No.1130)



「失職」を取り消した県の裁決には納得できない

熊本県知事は、2018年7月12日に、北口議員が代表を務めていた熊本市漁協と内水面漁連を通し市漁協が受注していた業務に関し、北口和皇議員が「兼業禁止」規定に該当しないと判断し、北口議員の「失職」を取り消しました。

しかし、県の裁決は納得でき

市漁協の不適切な委託事業の執行状況さえ確認されていない

熊本県が昨年12月20日に議会へ送付してきた回答書では、市議会の求めに応じ、この間熊本市漁協への立ち入り検査を実施してきたが、市漁協は会計書類を提出せず、検査にも応じていないと、記されています。そのため、問題となっている委

るものではなかったため、熊本市議会として7月25日に県へ申し入れを行い、県の裁決に関する根拠の説明や審査に関する資料の開示・提供、採決の見直しを求めました。

9月議会初日、北口議員の社会的・道義的責任を求める決議を、全会一致で議決しました。

託事業の委託金が市漁協に入金はされているものの、事業の執行は確認されておらず、市漁協の業務や会計が適切・妥当なものかも確認されていません。

ずさんな市漁協の運営を行い、市の業務を請け負ってきた北口議員の責任は問われます。

未だ、不当な委託事業や補助金の返還も行われていない

熊本市は、外部監査の結果を踏まえ、不適正な支出に相当するとした122万円を、熊本市漁協に対し返還を求めています。未だ返還に応じられていません。

北口議員は特別委員会で「ウナ

ギに問題があると言われれば、返すことも視野に入れ検討する」と発言しており、不当な利益を得ていたことを認めるものです。

この問題もうやむやにはできません。

【控室から】
消費税10%増税中止の声
上野みえこ
10月に予定される消費税10%への増税には、多くの人が怒り、そして心配しています。党市議団では、昨年12月議会に「消費税10%増税中止を求める意見書」(案)を提案しました。(残念ながら、賛同が得られず、取り下げに) 地域では、「10%には耐えられない」、「軽減税率は複雑でさっぱり・・・」、「年金も減っているし・・・」、「売り上げが心配」。小売店では、「レジの機械も替えないといけない、たいへん!」、「インボイスは困る」など・・・街頭署名では、若い人も「10%は困るッス」と。一方で「今から反対してもむずかしいでしょう?」といったあきらめの声もあります。問題と矛盾だらけの増税、あきらめてはいけません。日本共産党が取り組んでいる「2019年10月からの消費税10%中止を求める請願」署名も広げ、10%増税中止を求めていきます。ぜひご協力ください!

